

■オーストラリア：政府、小規模再エネの固定価格買取り制度について検討開始

オーストラリア連邦政府および全ての州と準州のエネルギー大臣で構成される「エネルギーに関する閣僚評議会（MCE：Ministerial Council on Energy）」は2009年2月6日、第18回定例会議の中で、小規模再生可能エネルギー電源を対象とした固定価格買取り制度の導入に向けた具体的検討を次回会合から実施すると発表した。これは、MCEの上位機関である政府間協議会（COAG：Council of Australian Governments、連邦政府及び各州・地域政府で構成される意思決定機関）が2008年11月28日に実施した会合で、固定価格買取り制度に関する基本方針を策定したことを受けての措置である。